

2006.10.15
Vol.03

REQUIEBROS

第1回ガスパール・カサド国際チェロ・コンクールin八王子情報誌



第1回ガスパール・カサド国際チェロ・コンクール in 八王子 [2006.11.23 - 12.03]

予選出場者発表!

G.カサド没後、1969年から1990年まで、原智恵子氏により、若く優秀な音楽家の発掘と育成を目指して、イタリアのフィレンツェにて開催されていたコンクールが、多くの人々に支えられて、2006年11月23日(木)に八王子で復活する。

今年1月、世界に向けて要項を発信し募集を開始した。エントリー希望者に最高の音楽水準が要求される本コンクールに、24カ国74名のエントリーがあった。募集期間わずか6ヶ月で、各国からこれほど多くの応募者があったことは、異例と

も言われ、関心の高さが示された。予備審査を経た19カ国45名の参加承認者から、最終的に予選出場者として38名が決定し、第1予選に、日本から5名、ロシア、韓国、フランス、アメリカ、中国から各4名、チェコから2名、その他ドイツ、ポーランド、セルビア、アルゼンチン、ベラルーシ、カナダ、フィンランド、アイスランド、イタ

リア、リトアニア、ウクライナから各1名が出場する。

世界各地のコンクールで、すでに入賞している、将来を嘱望された若きチェリストたちだ。

今秋、熱戦の舞台「八王子」で、若い才能の競演がよいよ始まり、12月2日の本選で第1回コンクールの栄えある優勝者が決定する。



ヨハンナ・アラ=ソイニ (フィンランド)



フョードル・アモソフ (ロシア)



エドヴァルダス・アルモナス (リトアニア)



マルタ・バグラトゥニ (アメリカ)



マヤ・ボグタノヴィッチ (セルビア/フランス)



アレクサンドル・ボウスロフ (ロシア)



カテリナ・ブラヒナ (ウクライナ)



ペトラ・チャドヴァ (チェコ)



ウンベルト・クレリチ (イタリア)



ギヨーム・エフ (フランス)



藤井 泉 (日本)



ニコライ・ギマレティノフ (ロシア)



ジェヌヴィエヴ・ギモン (カナダ)



ユンソン・ホン (韓国)



セバスチャン・ユールト (フランス)



ソンビ・チョン (韓国)



ダン・ヨハンセン (アメリカ)



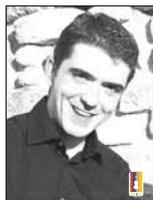
ソンミン・カン (韓国)



ヨンジン・キム (韓国)



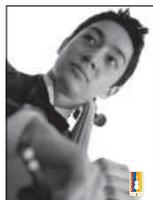
リー・リー (中国)



オリヴィエ・マロン (フランス)



中木健二 (日本)



ダビッド・レキロ (アメリカ)



グレゴリオ・ロビーノ (アルゼンチン/フランス)



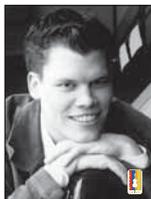
エフエーニールミャンツェフ (ロシア)



ヤン・リスカ (チェコ)



ウラジーミル・シンケヴィッチ (ベラルーシ)



ベネディクト・ドン・シュトロマイヤー (ドイツ)



ニ・タオ (中国)



サイウン・ソルステイン スドットィル (アイスランド)



ボニエン・ティエン (中国)



セバスティアン・ウシンスキ (ポーランド)



セバスチャン・ヴァンクイック (フランス)



ジェフリー・ワン (アメリカ)



渡邊研多郎 (日本)



渡邊 方子 (日本)



イン・シオン (中国)



柳本直子 (日本)

出場者38名は、アルファベット順に掲載しています。また、国別表など詳細情報を公式ホームページで公開しています。

公式ホームページ
<http://www.cassado-cello.jp>

アウトリーチコンサート報告



“親愛の言葉”のメロディーが響く！

9月5日、八王子市立下柚木小学校音楽室にチェロとピアノによる「親愛の言葉」（原題 RequieBros, G. カサド作曲）の優雅で華麗なメロディーが響き渡った。この日を皮切りに11月17日まで、八王子市内22の小・中学校でアウトリーチコンサートが開かれる。コンクールの開催に先立ち、子どもたちにチェロを身近に感じてもらうと企画したもの。演奏者は音楽大学の学生、進行役は音楽専科の先生、舞台作りは子どもたちと教師の協力で行った。生徒たちはチェロについてヴァイオリンやコントラバスの大きさと

比較しながら説明を聞き、演奏者から「弦は4本あり、初期の弦は羊の腸でしたが現在はナイロン弦が主です。弓は昔から白馬の毛を使っています」など教えてもらった。演奏者の小学校時代の思い出話などで、なごやかな場面が展開された。

6日は長房小で、14日は鹿島小の体育館で全校生徒を対象にコンサートが行われた。演奏曲目は他に、白鳥（サン＝サーンス）、愛の挨拶（エルガー）、星に願いを（ハーライン）など。

最後に子どもたちが演奏に合わせて「となりのトトロ」を歌い、楽しいひとときを終えた。



100人の愛くるしい子供たちの奏でるチェロの音！

第3回チェロを愛する若きチェリストによる交流コンサート

本選前夜、八王子いちょうホール（大）に3歳から12歳までの小さなチェリストたちが集合するこのコンサートは、NPO法人チェロ・コンサートコミュニティにより、第1回2003年、第2回2005年に

開催された。第3回を迎える今年は、「コンクール年」ということもあり、更なる飛躍と発展を求め、国際的な教育団体として知られる「スズキ・メソッド」と協力、東京八王子南ロータリークラブと共催し実施することとなった。

一番の見どころは、100人による大合奏で、子供たちの

可愛らしさを表すために、コンサートの題名を『Piccolina Piccolino ピッコリーナ・ピッコリーノ』とした。これは「少女・少年」の意味である。プログラムの中には、少年少女とは思えない曲目も並ぶ。

第一部は、全員合奏の“キラキラ星変奏曲”に始まり、“こぎつね”“かすみか雲か”バツハ

の“メヌエット”など、親しみのある曲が続く。

次に独奏が5曲。三鍋至くん（9歳）は、エクレスの“ソナタ”、高井啓佑くん（9歳）は、ポツケリーニの“アダージョとアレグロ”、香月麗さん（9歳）は、サン＝サーンスの“アレグロ・アパッショナート”、小林世佳さん（9歳）は、フォーレの“エレジー”、北垣彩さん（12歳）は、カサドの“親愛の言葉”、高橋和之くん（11歳）は、ポツパーの“ハンガリアン・ラブソディー”を演奏する。この5名のソリストたちは、全国各地から選ばれた精鋭たちで、未来のファイナリストを予感させる。

第二部は、チェロ合奏で、ヘンデルの“パッサカリア”、サン＝サーンスの“白鳥”などが演奏される。

チケットは1,500円。いちょうホールなどの窓口で発売中。小さなチェリストたちが奏でる大きな“夢”を聴きに行こう。

※詳しくは終面の「お知らせ」欄をご確認ください。

カサドの年譜

— その 3 —



参考資料：玉川大学 1997 年

カサド生誕百年記念祭 " 記念コンサート " プログラム p.20 - p.27

1956 年 (58—59 歳)

カザルスのバリ・デビュー 57 周年を記念して、ソルボンヌ大学講堂で演奏会が開かれ、その際、11 人のチェロ奏者によってフォーレの「エレジー」がカザルスの指揮で演奏される。この演奏にカサドもその一員として加わる。

シューマンの「チェロ協奏曲」とシューベルト／カサド編「チェロ協奏曲アルペジオネ」をハンベルク交響楽団と録音した演奏がヴォックス・レーベルから発売される。また、ドヴォルジャーク「チェロ協奏曲」、チャイコフスキー「ロココの主題による変奏曲」がヴィーン・プロムジカ・オーケストラとともに録音され、同じくヴォックス・レーベルから発売される。

1957 年 (59—60 歳)

バッハの「無伴奏チェロ組曲」を録音。《朝の歌》作曲。

1958 年 (60—61 歳)

5 月、第 1 回大阪国際芸術祭に参加のため来日。東京、京都、大阪、神戸で、ヘルムート・バルト、原智恵子、渡邊暁雄指揮日本フィルハーモニー交響楽団らと共演。

夏、スペインのサンティアゴ・デ・コンポステーラ夏期音楽講習会の客員教授。

10 月ケルン国立音楽大学のマスター・クラスの指導を、マウリッツ・フランクの後任として引き受ける。またマックス・ロスタル、ハインツ・シュレーターとともに「ケルナー・トリオ」を結成し演奏活動を始め、ベルギー、フランス、イングランド、スイスなどヨーロッパを中心に活動する。このトリオはフィッシャー、マイナルディ、シュナイダーハーン以来のマイスター・トリオと評判になった。メニュー

イン、ケントナーとともにアスコナ・フェスティヴァルでモーツァルト「ピアノ三重奏曲ホ長調 K.542」、シューベルト「ピアノ三重奏曲変ロ長調」を演奏。ハイドン「チェロ協奏曲二長調」、ボッケリーニ／グリツツマッヒャー編「チェロ協奏曲変ロ短調」、ヴィヴァルディ／カサド編「チェロ協奏曲ホ短調」をハンベルク交響楽団との共演でヴォックス・レーベルから発売される。

1959 年 (61—62 歳)

5 月 9 日、シエナで日本人ピアニスト原智恵子と結婚。カサドは終生の伴奏者を得る。

1960 年 (62—63 歳)

ドイツ、スイス、オーストリア、イタリア、フランスを中心に精力的に演奏活動を行う。バルビローリ、フルニエ、ロストロポーヴィッチらとともに第 1 回国際カザルス・コンクールの審査員の一人に加わる。

1961 年 (63—64 歳)

キジアーナ音楽アカデミーのサマー・レッスンで前年から指導していたカザルスと行動をともにする。

1962 年 (64—65 歳)

4 月、モスクワのチャイコフスキー・コンクールの審査員を務める。カザルスの暮らすプラドへ出かける。両者の間にメニューインが仲介役となり、全ては元の鞘におさまる。グスタード音楽祭に参加。10 月 16 日、夫妻で来日、「デュオ・カサド」として演奏活動をする一方で NHK 交響楽団、京都市交響楽団と共演。10 月 18 日、NHK のラジオ、テレビに「デュオ・カサド」として生出演。

1963 年 (65—66 歳)

ヨーロッパを中心に演奏活動。また、ソ連邦に演奏旅行に出かける。モスクワでは、フォーレ「エレジー」の演奏を亡くなった友人クヌシェヴィツキーの思い出として捧げる。

1964 年 (66—67 歳)

オーケストラとの共演の他に、「デュオ・カサド」、「ケルナー・トリオ」の活動も活発に行われる。5 月 6 日—28 日まで、ソ連邦へ「デュオ・カサド」のコンサートツアーに出かける。ロンドンで、当時発見されたボッケリーニの 6 つのチェロ協奏曲を、実際にボッケリーニ自身が持っていた楽器を用いて初演。「私のストラディヴァリは、私の連れ合いだ。それともとても誠実なね。」

1965 年 (67—68 歳)

オーケストラとの共演および「デュオ・カサド」の活動。中部ヨーロッパだけでなく、ギリシャや北欧でも演奏を披露する。7 月 27 日—28 日、ロンドンでメニューインらとモーツァルト「ピアノ四重奏曲」を録音。

1966 年 (68—69 歳)

5 月 28 日—6 月 19 日まで、原智恵子とソ連邦に演奏旅行に行く。6 月、モスクワのチャイコフスキー・コンクールの審査員を務める。7 月、イギリスでメニューイン、ヴァルター・ゲアハルト、フー・ツオンとともにモーツァルトの「ピアノ四重奏曲ト長調 K.478、変ホ長調 K.493」を録音。

10 月、「ケルナー・トリオ」でトルコ、ギリシャへ演奏旅行に出かける。11 月 4 日、フィレンツェを洪水が襲い、イタリアでの生活は困難を強いられる。

11 月 27 日、ロンドンの BBC で「デュオ・カサド」で演奏。

12 月 4 日、リスボンで A. サンシャイン指揮グルベンキアン室内管弦楽団と共演する。これがカサドの最後のコンサートとなる。その後、急性の心臓発作が再発し、数日ケルンの病院に入院。しかし、望郷の念に駆られるようにしてスペインを訪ねる。クリスマスには郷里バルセロナに戻ることにしていたのだが、それもかなわず、12 月 24 日、マドリッドで死去。

1969 年

カサドを記念して第 1 回「カサド記念国際チェロ・コンクール」がフィレンツェ市において開かれ、1990 年春、第 10 回をもって中止状態となる。原智恵子氏は 1990 年夏、心身の不調によりやむなく帰国するまでコンクールの運営に尽力する。

お知らせ

第1回ガスパール・カサド国際
チェロ・コンクール in 八王子
本選

平成18年12月2日(土)
開演：15:00 (開場：14:15)
八王子市いちょうホール (大)
料金は3,000円
共演：東京フィルハーモニー交響楽団 (指揮：十束尚宏)

表彰式・披露演奏会

平成18年12月3日(日)
開演：14:00 (開場：13:15)
八王子市いちょうホール (大)
料金は2,000円

第3回チェロを愛する若きチェ
リストによる交流コンサート

平成18年12月1日(金)
開演：18:30 (開場：18:00)
八王子市いちょうホール (大)
料金は1,500円

※イープラスでの販売はありません。

入場券発売中!

下記のプレイガイドよりお求め下さい。

(発売窓口)

いちょうホール
八王子市本町 24-1 (042-621-3005)

八王子市民会館

八王子市上野町 32-1 (042-622-8251)

南大沢文化会館

南大沢駅前 (042-679-2202)

学園都市センター

八王子東急スクエア 11F(042-646-5611)

(電話予約)

いちょうホール
042-621-3005

(インターネット販売)

イープラス
<http://eee.eplus.co.jp>
コンクール公式ホームページ
<http://www.cassado-cello.jp>

第1回ガスパール・カサド国際チェロ・コンクール in 八王子は、
ご覧の企業・団体の皆様に支援頂いております。

特別協賛

オリンパス株式会社

協賛

サントリー株式会社

カシオ計算機株式会社 株式会社関電工 佐藤産業株式会社
株式会社サン・ライフ 八王子ホテルニューグランド
須藤石材株式会社 株式会社セーラムインターナショナル
セントベル幼稚園インターナショナル 中央電子株式会社
東京工科大学 日本工学院八王子専門学校 株式会社東京精密
東京八王子南ロータリークラブ 株式会社日本エネルギー
横河電機株式会社 市川矯正歯科医院

北島音楽事務所 京王電鉄株式会社 KDDI 株式会社
学校法人創価大学 タキカワエンジニアリング株式会社 多摩信用金庫
八王子商工会議所 税理士 浜田建次 株式会社ムラウチ 薬王院
株式会社山六 株式会社ワイ・アール・シー
株式会社アイ・ビー・アール 株式会社アラジンジャパン 昭和建設株式会社
東京土地建物株式会社 八王子テレメディア株式会社 平谷法律事務所
村内美術館 ヤマニシ電子株式会社 杉本会計事務所 株式会社愛和セレモニー
株式会社 NTT 東日本・東京西 東京電力株式会社多摩支店 山五金属株式会社
イトヨーカ堂八王子店 近畿日本ツーリスト株式会社 八王子支店

サレジオ工業高等専門学校 システム・インストゥルメンツ株式会社 真照寺 須佐美術科医院
高尾院 谷谷フク 株式会社多摩テレビ 長福寺 有限会社トリニティ 中嶋会計事務所
有限会社にしむらや パイオニア株式会社 八王子市医師会 八王子ターミナルビル株式会社
日野自動車株式会社 松下電器産業株式会社 みずほ銀行八王子支店

株式会社イーアダマアソシエーツ 税理士 岡本恭子 北村とよ子 京晴株式会社 クロスフィールド株式会社
有限会社ケイズ保険事務所 ケーオーデンタル株式会社 小泉裕之司法書士事務所 国際ギター協会
株式会社コムネット 小室善衛 坂本クリニック 山栄興産株式会社 三多摩コンクリート株式会社
株式会社 G.I.A 株式会社シグマ 柴田産婦人科医院 スペインシーケミカル株式会社

有限会社大学セミナーハウス食堂 高尾登山電鉄株式会社 田舎備前工業株式会社 株式会社田中建設
東急建設株式会社 株式会社日商平野 八王子建物管理株式会社 八幡神社 権名エンジニアリング株式会社
平林正幸 豊徳開発株式会社 税理士 水島栄司 株式会社溝口祭典 株式会社メディックス
大和自動車ガラス株式会社 株式会社 YDM 渡辺きわ

安藤物産株式会社 おかた眼科 おがわ歯科医院 株式会社カイト 菊池眼科医院 きもの西堂 有限会社国際音楽交流研究所 小峰弘光
株式会社三成堂 有限会社 J.C.C. 鈴木診療所 須田動物病院 東京コカ・コーラボトリング株式会社 八王子音楽所 東京純心女子学園
東京八王子東ロータリークラブ 沼沢医院 八王子音楽院 八王子交通事業株式会社 有限会社ハマプロモーション 法妙寺
株式会社マイクロ電子工業 村田建築設計事務所 ヤマハウンドテック株式会社 山本経営事務所 ユーキャン株式会社 株式会社横浜家具

協力

全日本空輸株式会社 GE 横河メディカルシステム株式会社
日本ビューレット・パッカード株式会社 精琴堂 サンメディア株式会社
東京八王子ロータリークラブ 東京八王子西ロータリークラブ 東京八王子東ロータリークラブ
東京八王子南ロータリークラブ 東京八王子北ロータリークラブ 東京八王子ライオンズクラブ
東京八王子中央ライオンズクラブ 東京八王子いちょうライオンズクラブ 東京八王子高尾ライオンズクラブ
東京八王子陸東ライオンズクラブ 東京八王子桑都ライオンズクラブ 東京日野ライオンズクラブ
東京日野かしの木ライオンズクラブ 国際ソロプチミスト八王子 八王子歯科医院



チャペルコンサート Vol.33

平成18年11月7日(火)
出演：林 峰男 (Vc), 市川高嶺 (Pf)
開演：19:30 (開場：19:00)
八王子ホテルニューグランド英国チャペル
料金は3,000円
申し込み先：042-625-2120
※公式ホームページからもお申し込み頂けます。

REQUIEBROS 公式ホームページでも公開中!!

コンクール情報誌「REQUIEBROS」は、公式ホームページよりダウンロードできます。バックナンバーもご覧いただけますので、是非アクセスしてみてください。 <http://www.cassado-cello.jp>

主催

ガスパール・カサド国際チェロ・コンクール実行委員会

(構成：八王子市 / (財)八王子市学園都市文化ふれあい財団 / NPO 法人チェロ・コンサートコミュニティ)

特別後援

A.C.E.R.M. (コンクール・音楽フェスティバル協会<フィレンツェ>)

後援

外務省 文化庁 スペイン大使館 東京都 八王子市教育委員会
日本放送協会 (NHK) 日本チェロ協会
NPO 国際チェロアンサンブル協会 (社) 日本演奏連盟
昭島市 あきる野市 稲城市 清瀬市 国立市 小金井市 国分寺市
小平市 狛江市 立川市 多摩市 調布市 西東京市 羽村市
東久留米市 東村山市 東大和市 日野市 府中市 福生市 町田市
武蔵村山市 奥多摩町 日の出町 瑞穂町 檜原村

発行日 2006年10月15日(第3号)
発行元 ガスパール・カサド国際チェロ・コンクール実行委員会
発行責任者 会長 杉本敦子
編集元 NPO法人チェロ・コンサートコミュニティ広報部

お問合わせ ガスパール・カサド国際チェロ・コンクール実行委員会
〒192-0052 東京都八王子市本郷町4番3号
Tel. 042(625)2120 / Fax. 042(625)2430
Mail. info@cassado-cello.jp

※後援団体、協賛企業・団体等の情報は2006年9月30日現在のものです。最新の情報は、
<http://www.cassado-cello.jp>にてご確認ください。